

### 3 支援のポイント

#### それぞれの病気についての正しい理解をもち、適切に対応することが大切

##### ☆病名を知っているだけでは不十分☆

病名が同じであっても、症状や治療の仕方などは一人一人違います。



##### 《適切な支援をするために欠かせないこと》

- 気を付けなければならない症状、体調の悪いときの対処の仕方、服薬や処置の仕方、運動や食事の制限などをしっかりと把握しておくこと。
- 把握した情報をもとに、一日の学校生活の流れの中で、どの場面でどういう配慮が必要かを整理すること。
- 病気の子どもに関わる周囲の子どもや先生方に対して、配慮が必要な事柄について分かりやすい言葉で具体的に伝えること。
- どの程度まで説明するかについて、事前に本人や保護者の意向を確認しておくこと。
- 本人の、そして保護者や家族の病気の理解がどのような状況なのかについて把握すること。
- 良かれと思って配慮したことが、かえって本人や家族の負担になっていたり、周囲の誤解を招いてしまったりしないようにすること。
- 保護者の了解のもとで主治医と連絡を取り合い、支援や配慮事項について検討すること。  
その際には、特別支援教育コーディネーターを中心とした学級担任や養護教諭などの校内連携をし、チームで課題を共有し合うこと。

##### ☆プライバシーへの配慮☆

病気に関すること（病名も含めて）は、治療や処置の内容、服薬の情報（薬剤名も）など全て守秘義務がある個人情報（最も秘匿性が高いものの一つ）です。子どもとの会話だけでなく、教師間や保護者との会話、文書への記載なども慎重に行うべきです。周囲の子どもたちや他の保護者への伝え方など、「だれに」「どこまで」「どのように」伝えるかについて、事前に本人や保護者の意向を確かめておきます。「どのような言葉で」「どう説明したらよいか」を、本人や保護者と一緒に考えることも大切にしたいことです。



病気に関わる情報については、基本として『他の子どもたちには、本人が知っていること以外の病気に対する知識を与えない』ことです。本人に対して、病気や治療に関わるのがどのような言葉で説明されていて、どのように受け止められているのかを知っておくことが前提です。他の子どもや周囲にどこまで伝えるかについては、本人・主治医・保護者間で決定されます。決定された内容以外の話をしないことが、当然ながら担任にも強く求められていることとなります。何気ない質問や善意のアドバイスにも、心を痛めている子どもや家族がいることに留意します。また、医療に関わる場合は養護教諭との連携も大切です。

## ☆生活場面で☆

- 医療機関（主治医）と積極的に連携を図り、それぞれの病気の禁止事項について理解し、病気の状態等を考慮しながら、活動が負担加重にならないよう綿密な事前調整をします。
- 周囲からの励ましや支援が自然に得られるような学級経営の実践が求められます。
- 困ったことがある時には、援助をじっと待つのではなく、挑戦しようとする気持ち（積極性）を大事にした、子ども本人から周囲への支援の求め方を指導することが必要です。

## ☆学習場面で（教育活動での配慮）☆

- 無理にではなく、病状や生活環境等に応じた適切な教育を行うことは、生活を充実したものにし心理的な安定を促すとともに、心身の成長、発達に良い影響を与えます。
- 不足しがちな体験的な学習内容を準備し、指導方法を工夫します。
- 衝突や転倒が予想されたり、骨折しやすかったりする病気の場合には、事前に想定できる危険に対する防止策を十分に講じます。
- アレルギー疾患のある子どもについては、アレルギーとなる物質及び対応すべき状況等を正確に把握し、様々な場においても緊急対応できるよう留意します。
- 腎臓疾患や心臓疾患等の子どもたちへの学習に際しては、活動量や活動時間及び休憩の取り方を適切に定め、体調のコントロールを図りながら負担過重にならないようにします。
- 状態が日々変化することも多いため、主治医の指示のもと「学校生活管理指導表」を活用して常に病気の状態を的確に把握し、個々に応じた適切な対応や指導を行うことが大切です。



## ☆他の児童生徒に対する配慮☆

- 「病気であること」を周囲に伏せておきたい本人や保護者が存在することを理解しながら、病気によるわずかな生活規制であっても、誤解や偏見につながらないように、細心の注意を払います。「互いの違いを認め合い、相互理解を深める取組」を進めるとともに、本人の実態に合わせた役割分担や配置換えなど、十分に事前調整を行います。
- 感染症は病気の子どもにとって生命に関わる場合もありますが、「この子だけのために」ではなく、校内の健康・安全指導として日常の指導を徹底する姿勢で臨みたいものです。

